キャッチフレーズ「学校大好き！　輝くひとみいっぱい　栗原小学校」

栗原小だより

～学校教育目標～
よく考え学ぶ子
心のゆたかな子
たくましい子

新座市栗原１－５－１　☎042-473-7070
ＨＰ https://e-kurihara-c-niiza.edumap.jp/

令和８年度１１月号
令和８年１０月３０日

５０周年に向けてカウントダウン、スタート！

校長　古澤　健史

【赤白２点差の歴史的な大接戦】

第４８回運動会が、雨天のため１０月２７日（火）に延期となり、さらに開始を３０分遅らせての開催となりました。児童会が考えたスローガン「あきらめず　みんなの絆で　限界突破」のもと、くりっ子たち一人ひとりが躍動し、会場にいる全員が参加者となり、みんなで作り上げた運動会となりました。

保護者の皆様には、運動会の実施に際し、事前の準備から応援、片付けまで、多大なるご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。

また、当日を含め練習時には大きな音などで近隣の方々にご迷惑をおかけしました。

【サイバー攻撃の影響が身近に】

現在、学校から各家庭に一斉にメールを配信したり、学校へ欠席連絡を入れていただいたりする Home&School が、使用できない状況です。不審者情報や運動会の延期等の連絡をホームページにて知らせています。

各種報道にあるように、様々な企業がサイバー攻撃を受けて、個人情報の漏えいが起きています。PHP というコンピューターシステムをプログラムする言語に欠陥が見つかって、サイバー攻撃を受けやすくなる懸念から、安全対策が完了するまで各種サービスが停止されるということが起きています。この要因の１つに、AI が悪用されて、サイバー攻撃に使われているということが言われています。

【人文知は武器になる？】

一方で現代社会において、AI はすでになくてはならない存在になっているのも事実です。AI に答えを出させる技能ではなく、その答えを疑い、確かめ、目的に応じて使う力を子どもたちが身に付けて大人にならなければ、未来は大変な状況になることが容易に想像できます。

夏休みに『人文知は武器になる』という本を読みました。山口周氏と深井龍之介氏による対談本で、AI 時代や正解のない不確実な社会において、知的生産とは①アジェンダ（行動計画）の設定②仮説の構築③情報の収集④情報の分析・統合⑤情報の出力のプロセスで進行しているとしています。AI の登場により、この①～⑤のうちの③～⑤は AI が行ってしまうことになり、これからの社会で求められるのは、①と②で、これは「問いの質の差」で、その力を左右するのが、哲学・歴史・文学などの教養、「人文知」だというのです。

【人文知を身に付けるために】

文系の学問より理系の学問が重視される社会の傾向ですが、理系の学問を目指す人もしっかり文系の学問を修める必要があるのかもしれません。テレビ等で活躍する池上彰氏もかつて東工大の教授として、リベラルアーツ（一般教養）を理系の学生に教えていました。

では、子どもたちに「人文知」を身に付けさせるにはどうすればいいのでしょう。

先月の繰り返しになりますが、授業において情報の収集で、実地見学・実物資料・書籍・インタビューを大事にし、自力解決の時間、隣同士・グループ・クラス全体などの話合いを通じて情報を整理分析する場面を多くつくり、文字や絵を用いてまとめる経験（キャッチコピー・ポスター・新聞等）を積ませることに尽きると思います。

このことは、すべての学習教科領域で行われますが、特に核になるのが、生活・社会・総合と特別活動や学校行事ではないでしょうか。

本校は研究教科として生活と社会を研究し、来年の５０周年に向けて、特別活動や学校行事で様々なことを計画しています。ここに、PTA、学校応援団、実行委員として家庭と地域に加わっていただいています。

１１月２８日に栗原小学校は４９回目の開校記念日を迎えます。５０周年まであと１年となります。

栗原小学校のホームページで学校生活の様子がご覧いただけます。（スマホでも OK です。）